

こころ

第19号

編集と発行
城北コミュニティ文化協会
丸亀市御供所町1-5-20
城北コミュニティセンター「明倫」
☎25・2141

人権標語の応募

ありがとうございました
(優秀作品発表)

さる一月、校区の皆様から

応募いただきました人権標語は、おかげさまで三十点の作品の応募がありました。三月六日の明倫まつりで九十三名の参観者の方が審査投票してください、その結果、投票数上位十点の作品を選ばせていただきました。この作品の数は、城北コミュニティ主催の行事の印刷物等に掲載させていただきます。

以下がその作品です

最優秀賞 一点

ありがとうございます すなおに
いえる 子にそだて

優秀賞 二点

城東町 宮澤実知子
思いやる心が 育てる
人権の輪

富士見町 秋山 文子
ニココリ 笑顔で

ありがとうございます！
城東町 近藤比佐子

佳 作 七点

温もりと笑顔で
差別のない町づくりを！

土居町 尾松 静子
だれからも 学ぶ心を
忘れずに

御供所町 楠村 絹子

城北小学校 なかよしのつどい

さる二月五日に、城北小学校の体育館において恒例の「なかよしのつどい」が開催されました。

昨年、開催日が休日になったので、保護者の参加が多くなり、どの学年団の発表の時も会場は保護者で一杯でした。また会場には児童の人権に関する習字やポスターの力作が展示されていました。保護者対象の人権研修では、昨年、佐賀で開催された全国人権研究大会で城北小が報告した内容が紹介されました。

「お元気ですか」と
声かけ合って 笑顔で
かわす 向こう三件両隣
城東町 鈴木 禮子
お互いに 笑顔で守る
人権の和

風袋町 関 敏夫
ふりかえろう 今した
行為と ことの重さ

風袋町 竹本 正子
認め合う 心が築く
明るい社会

風袋町 藤田登茂子
あいさつは 明るく
笑顔で 元気よく！

富士見町 室津 美姫

この「つどい」は、各学年が、生活科、総合学習、道徳等で行う「人を大切にする学習」で学んだこと発表するもので、各学年のテーマは毎年次のように決まっています。

- 一年生 入学して約一年、学校生活を通じて出来るようになったことを紹介する「できるようになったよ」
- 二年生 ともだちづくりの大切さを劇化して発表する「みんな友達ち みんななかま」

● 三年生 城北校区にある公共施設とその役割や地域とのつながりを発表する「明倫の里コマーシャル大作戦」

● 四年生 人を大切にする言葉遣いや行動を寸劇にして考える「なかよし大作戦」

● 五年生 人にやさしい町づくりについての調査を発表する「住みよい町私たちの城北校区」

● 六年生 様々な差別の解消を呼びかけた「みんな幸せな町 丸亀」

● たんぼほ学級 学級の一年間の出来事を振り返って発表する「季節はめぐって」



なかよしのつどい(1年生)

つどいに参加した児童や保護者の感想文

一年生 児童

一年生での、はつぴょうははじめは、はずかしくて、どきどきしたけど、「①まえとびをします」といって、できたのでよかったです。(後略)

②縄跳びの跳び方

一年生の保護者

みんな、元気よく自分の役をこなしていて、見ていても良かったです。お手玉や縄跳びを毎日練習している姿に、とても成長したなあと思いました。ひとつひとつ自分の目標を達成する喜びを大切にして成長してほしいと思います。

二年生 児童

今日のなかよしのつどいでたんぼほ学級や一年生がいつしようけんめい気もちをこめてはつぴょうしていきたく気もちがたわってきました。「スマイル」の歌を歌ったあと、おきやくさんがさいごの「スマイル」でおおきなはくしゅをしてくれたのがとてもうれしかったです。

三年生 児童

ほくは、練習のときよりも

がんばりました。また、四年生もずつとよくなっています。学習会の人のげきを見て、しょうがいがあってもなくてもだれでもが利用できるしせつをたいせつにしようと思えました。また、そうごうセンターはたくさんの方が市やく所になんどもたのんできたんだなあということが分かりました。

三年生の保護者

今回のふたつのテーマについて探検していく中で子どもたちに、楽しく理解しやすいように、いろいろと準備してくださいました。いろいろな人たちと出会い、学んだことは、人は助け合って生きていくということだと思えます。ひとりです器川をきれいにすることは大変だけど、みんなできれいにすることを心がけたら、人も魚も植物もよるこぶ自然環境になると思えます。

四年生 児童

今日のなかよしのつどいは、自分では一〇〇パーセント全力で出来たなあと思います。げきをしている人もステージ前の人も練習より声がでていて、上手にできたなあと思

ました。それと、学習会の人たちのげきも、タンポポ学級も、上手でした。なかよしのつどいをして、家や地いきの人に明倫の時間に勉強したことを分かってもらえたらうれしいです。そうごう以上に人数が多くても、きんちようせずにがんばれたから、うれしかったです。

四年生の保護者

四年生の発表は、毎日の生活の中で生かせる内容で、分かりやすくとてもよかったです。思います。自分には、何気ない一言でも相手にとってはどうか？子どもより親である私にも反省すべき点がたくさんあります。腹がたつた時も「ほくほく言葉」……とても大切ですね。子どもたちは、大きな声で堂々と発表して成長したと感じました。

五年生 児童

今日なかよしのつどいがありました。私たち五年生は「住みやすい町 私たちの城北校区」の劇を発表しました。私はボスターの役をしました。体育館のステージに上がるとたくさんの方が見に来てくれていて、とてもきんちようしました。でも、大きな声でゆっ

くりと言えたと思います。

「歌はほくらの友達」を話でしました。ゆれる動作が大きくてきたと思えました。五年生の発表が終わり、六年生の発表を見ました。大きな声で言えたのですごいなあと思えました。劇も上手でした。六年生の発表を見てやっぱりさべつはいけないことが分かりました。住んでいる所でさべつすることはおかしいと思います。このつどいでいろいろなことを学びました。来年もがんばりたいです。



なかよしのつどい(3年生)

六年生 児童

私は一年から五年までの発表を聞いて、心に一番残ったのは、四年生の言葉づかいのこの発表でした。私がふだん学校でつかっているような言葉が出てきたりして、「あ

ー、私がこんな言葉をつかっている時は、相手はこんな気持ちになってるんだなあ」と分かりました。私は「トゲトゲ言葉」をつかっている時の相手の気持ちを全然考えた事がなかったのです。今度「トゲトゲ言葉」をつかいそうになった時は、自分が言われたらどんな気持ちになるだろうと考えて話し方に気をつけたいと思えました。また、「ほくほく言葉」を言われると、とてもうれしくなったり、良かったなあと思うので、友だちに何かしてもらったりした時は、「ありがとう」などの「ほくほく言葉」をつかいたと思います。

②「ほくほく言葉」↓優しい言葉「トゲトゲ言葉」↓傷つける言葉(城北小の造語)

六年生の保護者

小学校生活最後の「なかよしのつどい」はとても素晴らしいものだったと思います。今年ほど感動したことはありませんでした。わが子の劇の姿。衣装を着けての劇は、初めて経験だったけど、すごく似合っていて、演技も堂々と落ち着いてできていました。この世の中には、まだまだ理

不尽な差別が残っているけど、小学校で学んだ「差別は絶対しない」ということを忘れないうで生活してほしいと思います。毎年「なかよしのつどい」では、とても大切な事を勉強してきました。これら勉強してきたことを忘れず心の中にとどめて、中学校でも頑張っ

人権コラム

わたしがりょうてをひろげても／おそらはちつともとべないが／とべることりはわたしのよう／じべたをはやくははしれない／わたしがからだをゆすつても／きれいなおとはでないけど／あのおらずはわたしのよう／たくさんなうたはしらないよ／すずとことりとそれからわたし／みんなちがつてみんないい二十六歳の若さで世を去った金子みすゞが「みんなちがつて みんないい」という表現を通して、優劣のみを競うことから、お互いのよさを認め、尊重し、共生することの大切さを約九十年前の大正末期に訴えた詩です。

(託問記)